

成瀬ダム堤体打設工事

# 工事だより

[第35号]

[発行元] 2024年 12月発行

鹿島・前田・竹中土木JV成瀬ダム堤体打設工事事務所

TEL: 0182-23-5185

FAX:0182-23-5186(担当:鈴木)

〒019-0803 東成瀬村椿川字立石30-1



WEBサイトはこちら www.narusedam.jp

工事に関してご不明な点がありましたら、お気軽にお電話ください。

#### 堤体CSGの打設が 完了 いたしました!





成瀬ダムのこれまでを 動画でチェック!

## ご挨拶 わたなべ ひろき

工事2Gr.の渡邉 大樹と申します。2022年4月に赴任し、今年で3年目になります。現在は、ダム堤体の下流側に位置する減勢工の躯体工事を担当しています。これまでもダム現場(新潟県:新設)を経験したことはありましたが、成瀬ダムに赴任した際は現場のスケールの違いに驚きました。今でも現場へ行く度、ふと堤体を見上げると、着実にダムが完成に近づいているなと感動します。今年までが工事の最盛期となる中で、日々多くの作業調整を必要とする毎日ではありますが、完成すれば台形CSGダムとしては日本最大規模となるダム現場に携われていることに誇りを感じています。

豪雪地帯にある現場のため、これからの時期は本格的な 降雪に備えての冬支度とともに、来年度の施工が安全かつ 円滑に進められるよう詳細な計画を進めて参ります。

これからもダムの竣工を目指して作業所全員で頑張って 参りますので、今後とも皆様のご支援ご協力の程、 よろしくお願いいたします。



工事主任(工事2Gr.) 渡邉 大樹(前田建設) 出身地:東京都

趣味:キャンプ、車いじり、温泉巡り 座右の銘:笑う門には福来る 好きな食べ物:焼肉食べ放題 とく りょうすけ

はじめまして。工事3Gr.所属の徳 良介と申します。2022年に赴任し3年目となります。最初の2年間は堤体構築を担当し、現在は造成岩盤及び右岸側の躯体工事を担当しています。

これまでにもダム現場を経験したことはありますが、 成瀬ダムは規模が大きく自動化施工などの最先端技術も 間近で経験することができ圧倒されました。私が赴任 した当初は堤体は全然上がっていませんでしたが、今と なってはダムの全体像がわかるほど施工が進み感慨 深いです。特に、私の担当している箇所が一番に 堤頂部に到達したことは少し誇らしいです。

秋田県に来て早4年となりますが、こんな大きな 現場に携わることができたことに加えて、こっちで奥さんと 出会うこともでき第二の故郷となりました。

工事も山場を無事に乗り越えられたのも皆様の協力 あってこそです。ダム完成まではもう少しかかりますが、 これからも安全に施工を進めて参りますので今後とも 皆様のご支援とご協力の程よろしくお願いいたします。



工事主任 (工事3Gr.) 徳 良介 (前田建設) 出身地:神奈川県 趣味:車、ドライブ、散歩 座右の銘:不撓不屈

好きな食べ物:おにぎり、バウムクーヘン

#### 工事概要

I

工 事 名 成瀬ダム堤体打設工事

発注者 国土交通省東北地方整備局成瀬ダム工事事務所

工事場所 秋田県雄勝郡東成瀬村椿川地内 水 系 1級河川 雄物川水系成瀬川

地 質 緑色凝灰岩・凝灰角礫岩・凝灰質泥岩

期 2018年5月9日~2026年12月11日

(3,138日、約103ヶ月)

ダムの目的 洪水調整(F)·流量機能維持(N)·農業用水の補給(A)

水道用水の供給(W)·発電(P)

#### 進捗度

2024年12月3日現在

堤体積

堤 高

 $C\ S\ G \qquad 4,329,200 \text{m}^{\frac{1}{2}}\ /\ 4,312,000 \text{m}^{\frac{1}{2}}\ (100.4\%)$ 

CON 543,500m²/ 596,900m² (91.1%)

113.0m / 114.5m (92.7%)

12月末現在の人数 計 376人 (JV職員 55人・協力会社 321人)





成瀬ダムの施工技術を 動画でチェック!



稼働中の自動化振動ローラ (2024年11月5日 撮影)



最終CSGを敷き均すブルドーザ (2024年11月20日 撮影)

### 現況報告

10月12日、イオンモール秋田にて開催された『けんせつ未来フェスタ』へ、今年も成瀬ダム工事事務所・原石山JVとともに出展いたしました。先日のダムまつり同様、メモリアルストーンの作成を体験していただきました。

11月20日、成瀬ダムCSG打設完了式を行いました。ダムの堤体を構成している材料・CSGとコンクリートのうち、CSGの打設がついに完了し、日本最大の台形CSGダムの完成にまた一歩大きく近づくことができました。

冬期間は工事の規模を縮小し、監査廊と仮排水トンネル内でのグラウチング等、雪の中でできるだけの作業を行い、 雪解け後の春からは堤頂などのコンクリート工事を予定しております。引き続き温かく見守っていただけますと幸いです。



【当日集まったメモリアルストーン】 体験や展示を通じ、みなさまに成瀬ダムを 知っていただくことができました。



【堤体に並んだメモリアルストーン】 イベントで集めたストーンをCSGの形に 並べた上に最終CSGを打設しました。



【最終CSG打設の様子】 工事1Gr. 伊澤工事課長の合図で重ダンプが 最終CSGを打設箇所へ下ろしました。